

グリーンセンター 臨時休業のお知らせ

3月29日(金) 12時まで営業

3月30日(土)・3月31日(日) 休業

4月1日(月) 12時より営業

棚卸監査の為、ご不便をお掛け致しますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

今月の注文書等について

「果樹夏農薬肥料」「梅干用資材」「ヤマビルスプレー」「スクミリンゴガイ駆除剤」
※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

4月の自己取り商品について

「水稻育苗用シート」「チップソー・2サイクルオイル及び茶用袋」「茶缶・茶袋」

令和6年4月18日(木)・19日(金)・20日(土)

9:00~15:00の間に取りに来てください。

(上記以外のご注文品は準備ができ次第、ご連絡いたします。)

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。 土曜日以外は在籍予定ですが、都合により不在の場合がございます。
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) <u>4月9日・23日となります。</u>

【野菜苗・しょうが種子受渡日のご案内】

※令和6年度も、自己取り対応になりますのでご注意ください。

管内	日時	引渡場所
福沢支店管内	4月16日(火) 9時30分~11時	福沢支店
開成支店管内	4月16日(火) 13時30分~15時	開成営農経済センター
大井支店管内	4月17日(水) 9時30分~11時	大井支店
岡本支店管内	4月18日(木) 9時30分~11時	岡本支店
南足柄支店管内	4月23日(火) 9時30分~11時	南足柄支店
松田支店管内	4月23日(火) 13時30分~15時	松田支店
南足柄(矢倉沢)	4月25日(木) 9時30分~10時30分	矢倉沢公民館
南足柄(内山)	4月25日(木) 13時30分~14時30分	内山公民館
松田支店(寄管内)	4月26日(金) 9時30分~10時30分	寄自然休養村管理センター

※自己取りの際、コンテナ等の容器をご用意願います。

【お茶刈機点検整備会の開催のご案内】

お茶刈機の整備・点検を希望される方は、下記の最寄り会場までご持参下さい。

開催日	会場	受付時間
令和6年4月2日(火)	岡本支店	9:30~14:00
令和6年4月5日(金)	久野営農経済センター	9:30~14:00

※ 4月2日(火)~9日(火)(日曜日を除く)の期間中、西部農機・自動車センターでも受付致します。
開催場所から遠い場合は西部農機・自動車センターへ持参いただくか、事前に各営農経済センターへお届け願います。

～作物管理情報～

——【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

4月上中旬

- かいよう病 マイコシールド 1,500倍 66g/水100㍓ 収穫21日前 4回
- 黒星病 デランフロアブル(劇) 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫14日前 2回
又はペンコゼブフロアブル(注文取り寄せ品) 1,000倍 100ml/水100㍓
収穫21日前 3回

- アブラムシ類・カミ類 ダントツ水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

4月下旬

- かいよう病 マイコシールド 1,500倍 66g/水100㍓ 収穫21日前 4回
- 黒星病 ストロビードライフフロアブル 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫7日前 3回
- カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 100ml/水100㍓ 収穫7日前 2回

5月上旬

- 黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫前日 3回
- ※かいよう病は降雨時に感染するので、降雨前の散布を心掛けましょう。

<黒星病の防除について>

昨年は黒星病の発生が非常に多い年でした！4月上旬、下旬、5月上旬の春先の防除が有効になりますので徹底しましょう！特に、今まで5月上旬の防除をされていない園は、4月の防除に加え今年は必ず防除をするようにしましょう！

*2週間間隔で散布しましょう。

*前年の被害枝は切除しましょう。

摘果 4月下旬～5月上旬

果実の大きさが大豆程になった頃が適期です。早く仕上げるほど、肥大はよくなります。
樹木の着果量を確認して小玉果や群状結実しているところを摘果しましょう。
特に梅酒用品種は早期大玉果の出荷が高単価につながります。

——【か き】——

病害虫防除 4月下旬～5月上旬

- カイガラムシ類 モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4000倍 25g/水100㍓ 収穫前日 3回
アザミウマ類
- 落葉病 エムダイファー水和剤 650倍 153g/水100㍓ 収穫45日前 2回

——【水 稻】——

塩水選 水10ℓに対してうるち種子は 塩2.15kg、もちは 塩1.26kgを目安としてください。

浮いたモミを取り除き、底に沈む充実した種モミを種子として使用します。

種子消毒 塗抹処理（農薬液と種子を一緒に混ぜ、種子に均等に付着させる方法。）

種モミは十分に乾燥させ使用する。薬液量は種モミ重の3%で、種モミをかき混ぜながら薬液を垂らし付着させる。処理後も薬剤の効力は持続するので、処理後貯蔵することも可能。

（例）乾燥種子10kg 薬液300ml

（テクリードCフロアブル40ml + スミチオン乳剤3ml + 水257ml）

* 種子消毒には浸漬処理もありますが、農薬の廃液が生じない塗抹処理が望ましい。

浸 種

消毒済の種モミは、水切り後自然乾燥（水洗いはしない）し、水道水に浸して催芽（ハト胸状態）させましょう。有効な水温は10℃以上です。目安は水温の積算温度100℃（20℃の場合5日）です。

播 種・出 芽

播種量：乾モミで150g～180g/箱

育苗土消毒 播種直前 1箱当たりナエファイン粉剤（注文取り寄せ品）（6～8g）を土と混合する。

又は1箱あたりナエファインフロアブル（注文取り寄せ品）（2000倍）の希釈液を500～1000mlかん注し、その後播種する。

播種時 1箱あたりタチガレエースM液剤（1000倍）+ダコニール1000（1000倍）の混合液500mlをかん注し、その後播種する。

育苗肥料：20g/箱（「しなの培土」のように、育苗土に配合されている場合は必要なし）

温度管理：積算温度60～64℃で出芽させる。育苗器の場合、30℃で2～3日。

育苗管理

1cm程度出芽したら、平らに並べ育苗する。

昼間：20～25℃、夜間18℃程度で、概ね7日間で緑化させる。床土保温のため、箱を広げてすぐの夕方のかん水はせず、急激な温度変化を避けましょう。

——【温州みかん・中晩柑】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

4月上旬

○ミカンハダニ アタックオイル又はハーベストオイル 100倍 1,000ml/水100ℓ

（ハダニ防除は冬季に散布した場合は不要）（3月散布の場合は80倍）

※カイガラムシ類を多く見かけた場合は、アプロード水和剤 1,000倍 100ml/水100ℓ
14日前 3回 を散布しましょう

4月上中旬（温州みかん）

○そうか病 デランフロアブル（劇） 1000倍 100ml/水100ℓ 収穫前30日 3回
又はイデクリーン水和剤 500倍 200g/水100ℓ
（薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する）

※イデクリーン水和剤はマシン油乳剤との混用、およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けてください。

※デランフロアブルはかぶれやすいので注意する。また、かぶれる人はイデグリーン水和剤を使用しましょう。そうか病は新芽が出そろった時期に散布しましょう。前年多発園では必ず散布しましょう。

——【キウイフルーツ】——

安定した価格で取引されています。高品質な果実生産のため、防除を徹底しましょう。

4月中下旬 花腐細菌病・かいよう病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ

（薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する）

——【いちじく】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

施肥 3月

春肥 大地のめぐみ 100kg/10a (樹勢により調整する)

早すぎると初期生育が良くなりすぎ、節間が長くなり結果数が減り収量の減少につながるので注意する。

病害虫防除 4月

○カミキリムシ類 ガットサイドS 原液塗布 (株元から結果母枝まで塗布) 収穫7日前 3回

○アイノキクイムシ 又は1.5倍液を主幹部に散布 収穫7日前 3回 (1.5倍散布はアイノキクイムシのみ登録あり)

栽培管理

3月中旬～5月上旬 晩霜・主幹日焼け対策

樹液が動き始める3月中旬頃は晩霜被害が出やすい (特に主枝部分) ので、稲わら等をのせて縛り防寒しましょう。雨に濡れないようビニールで覆うと効果的です。

4月下旬～5月下旬 敷きわら

降雨の泥跳ねによる病害防止と梅雨明け後の乾燥防止のために、主枝の下に幅1m前後で敷きましょう。

——【お茶】——

病害虫防除 3月上旬～4月上旬

○カンザワハダニ バロックフロアブル 3000倍 33.3ml/水100ℓ 摘採14日前 1回

○もち病 ドイツボルドーA 500倍 200g/水100ℓ 摘採14日前 1回

施肥 4月 芽出し肥 摘採20～30日前に10aあたり硫安40kg (2回に分けて行う)

一番茶の摘採

本茶の摘採 4～5葉展開を待ち1芯3～4葉を摘みましょう。

刈番茶の摘採 遅れ芽が揃ってから行いましょう。(摘採後7～15日)

一番茶の摘採面で刈る事がポイントです。

一番茶の刈り残し (残してきた1～2節) を絶対にとらないこと。

※摘採後は生葉ムシに注意し、日陰の涼しい所で管理しましょう。

——【野菜】——

定植準備 3月下旬より

定植約1ヶ月前、苦土タカと堆肥を施用し、よく耕耘して野菜苗の定植準備をしましょう。

購入した苗を定植する場合、栽培環境に慣らすためすぐに定植せずに1週間程度置いておきましょう。

また、定植数日前にマルチをかけ地温を高めておくと根の活着が良くなります。

元肥 定植前に施しましょう。

《1aあたりの使用量》

キュウリ ジシアンS806: 15kg ようりん: 4kg

トマト CDU燐加安S555号タマゴ: 7kg ようりん: 5kg

ナス CDU燐加安S555号タマゴ: 8kg ようりん: 4kg

※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。

<注意>

「収穫〇日前」: 定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」: 農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なります。あらかじめご承知おき下さい。△△

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。